

第20回

人にやさしい 街づくり賞 募集



愛知県では、高齢の方や障がいのある方をはじめすべての県民が、あらゆる施設を円滑に利用できる「人にやさしい街づくり」を進めています。

この取り組みをさらに広げるために、街の中にある誰にでも使いやすい「もの」や、高齢の方や障がいのある方が地域でいきいきと暮らすための「活動」などを募集します。

推薦・応募期間

平成 26年 8月29日(金)まで



写真 第19回 人にやさしい街づくり賞

【上段】

特別賞 大口町立大口南小学校 <もの>

【下段】上

賞 豊田市立四郷小学校・
豊田福寿園地域包括支援センター <活動>

【下段】下

賞 岡崎市医師会 はるさき健診センター <もの>

過去の受賞一覧は、
愛知県Webページでご覧いただけます。
<http://www.pref.aichi.jp/jutakukeikaku/>



推薦・応募対象

「人にやさしい街づくり」に寄与している「もの」や「活動」などを推薦・応募してください。原則として愛知県内における取り組みを対象とします。

※具体的には以下の事例を参考にしてください。

- 高齢の方や障がいのある方を含む多様な人々が、街を円滑に利用できるような工夫や努力等がされている「もの」や「活動」など

1 「人にやさしい街づくり」に寄与している建築物、施設、機器などの「もの」

- 人にやさしい整備を進めている建築物(改修も含む)
- 人と車が共存できるコミュニティ道路
- 地域住民が整備に参加した人にやさしい公園
- バリアフリー化された商店街
- 障がいのある方が使いやすい食器などを用意した飲食店
- だれもが気軽に街へ出かけられるよう工夫した機器や装置(移動のための機器や安全に誘導する装置など)

2 「人にやさしい街づくり」に寄与している支援などの「活動」

- すべての人が自由に外出できる人にやさしい街づくりを進める地域活動
- 高齢の方や障がいのある方への支援、地域との交流などを積極的に進める活動

3 その他、この賞の趣旨に適合しているもの

推薦・応募期間

平成26年8月29日(金)まで

推薦・応募資格及び方法

自薦・他薦を問わず、どなたでも、一人何点でも応募できます。また、既に受賞している場合を除き、再度応募できます。

中面の推薦・応募用紙に必要な事項を記入し、写真等の参考資料を添付して、愛知県建設部建築局住宅計画課街づくり事業グループあてに送付又は持参してください。メールでの応募も可能です。メールの場合は、右記の住宅計画課メールアドレスへ送信してください。

推薦・応募用紙は愛知県Webページからダウンロードすることもできます。

選考基準

「人にやさしい街づくり」に寄与している「もの」や「活動」などで特に優れたもの、他の模範となるもの、先駆的なものなどを選考し表彰します。

なお、「もの」については、建築基準法及び人にやさしい街づくりの推進に関する条例に適合していることとします。

選考方法

「人にやさしい街づくり賞」選考委員会で選考します。

- 第一次選考 書類選考 9月下旬(予定)
- 第二次選考 現地調査・ヒアリングによる最終選考 10月下旬(予定)

追加資料の提出やヒアリング、現地調査のご協力等をお願いする場合があります。

賞

人にやさしい街づくり賞 10件以内
(特に優れたものについては大賞、特色のあるものについては特別賞を授与します。)

発表

選考結果は、11月下旬に発表し、平成27年3月中旬に表彰式を行う予定です。

また、受賞されたものは、「第20回人にやさしい街づくり賞の記録」に掲載されます。

選考委員

委員長 よしむら 吉村 輝彦	てるひこ 日本福祉大学国際福祉開発学部 国際福祉開発学科 教授
委員 くらた 倉田 あゆ子	こ 名古屋短期大学現代教養学科 准教授
しらいし 白石 知子	ともこ 中部大学 生命健康科学部保健看護学科 教授
ただだ 谷田 真	まこと 名城大学理工学部建築学科 准教授
ひらばやし 平林 由果	ゆか 金城学院大学生活環境学部 環境デザイン学科 教授
いとう 伊藤 輝明	てるあき 愛知県健康福祉部長
そぶえ 祖父江 隆弘	たかひろ 愛知県建設部建築局長

(五十音順、敬称略)

事務局 推薦・応募、お問い合わせ先

愛知県建設部建築局住宅計画課
街づくり事業グループ(愛知県本庁舎5階)
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
(郵送の場合は、住所の記載不要)

TEL 052-954-6590(ダイヤルイン)
FAX 052-961-8145
E-mail jutakuikaku@pref.aichi.lg.jp
URL http://www.pref.aichi.jp/jutakuikaku/

第20回人にやさしい街づくり賞 推薦・応募用紙

★印は必ずご記入ください。
(その他は、わかる範囲でご記入ください。)

■ 推薦・応募する取り組みの区分 ※該当するものを○で囲んでください。

★ 区 分	・「もの」(建築物・施設・機器など)	・「活動」	・「もの」「活動」の両方
-------	--------------------	-------	--------------

■ 推薦・応募する取り組みの概要 ※「もの」「活動」の両方に○を付けた場合は、「もの」について、「活動」について、双方ご記入ください。

「もの」について	
★「もの」の名称	
★施設等の所在地	〒 電話 FAX E-mail
施設等の設置者又は管理者	
住 所 ※施設の所在地と異なる場合にご記入ください。	〒 電話 FAX E-mail
設計者	
住 所	〒 電話 FAX E-mail
完成年月日	
(建築物の概要) 面積 構造・階数 建築基準法 人にやさしい街づくりの推進に関する条例	敷地面積 m ² 建築面積 m ² 延べ面積 m ²
	造 階
	建築確認又は検査済証番号 建築確認又は検査済証交付年月日
	届出要否 ※該当するものに○
	・要 ・不要
	整備計画適合通知又は適合証交付番号

「活動」について	
★活動を行っている団体名または個人名	
代表者名	
住所	〒 電話 FAX E-mail
★「活動」の名称	
「活動」開始年月日	

■ 推薦・応募者（連絡先）

★ 氏 名	ふりがな	
★ 住 所		〒 電話 FAX E-mail
★ 区 分	・推薦	・応募 ※該当するものを○で囲んでください。

- ・ご記入いただいた個人情報は、審査・入選時の連絡や事務局からの情報提供のみに使用します。
- ・応募された「もの」や「活動」の名称、並びに入賞した取り組みの概要や住所、写真は、表彰式や記録集のほか、愛知県Webページ等で一般に公表します。公表を差し控えたい箇所があればその旨記載してください。
- ・写真は必ず使用許可をとってください。また、使用の際、特記事項等があればその旨記載してください。
- ・お送りいただいた資料は、原則としてお返ししませんので、返送の必要があればその旨記載してください。

■ 推薦・応募理由や参考資料 ※本用紙によらない場合は、A3横長用紙としてください。枚数は問いません。

★ 推薦・応募理由

「人にやさしい」と思われる点、良いと考える点を、自由に記入してください。
(設計のポイント、特徴や運営状況、活動方針や内容・実績、工夫をしている点、今後の活動予定等)

【例】「もの」をつくるまでの経緯(プロセス)、「もの」が完成してからの反響・影響、どのようなメンバーでどんな「活動」を行っているかなど

■ 参考資料

推薦・応募する取り組みが分かる、説明資料や写真、パンフレット、チラシなどを添付してください。

● 「もの」(建築物、施設、機器など)の場合

- ① 位置図、配置図、部分詳細図、設計図 (建築物の場合は主要階平面図)
- ② 建物全景や機器全体写真、人にやさしい部分・利用の仕方が分かりやすい詳細写真、内観写真
- ③ その他、選考にあたり参考となる資料 (例:施設や機器などのパンフレット)

● 「活動」の場合

- ① 活動の目的を記した書面 (例:団体の規約)
- ② 活動実績 (例:活動の内容をまとめた報告書や会報、出版物。イベント等のチラシやパンフレット)
- ③ その他、選考にあたり参考となる資料 (例:活動しているときの写真)

■ アンケート ■ 応募資料はどこでご覧になりましたか? 番号に○をつけてください。(いくつでも可)

1. 県や市町村の窓口 (窓口名記入欄:)
2. 知人や加入団体等からの紹介 (団体名記入欄:)
3. 事務局からの郵送資料 4. 愛知県Webページ 5. その他 (記入欄:)

第46回中部建築賞 2014



応募期間 平成26年8月1日(金)~8月31日(日)
(当日消印有効)

主催 中部建築賞協議会

ホームページ <http://www.tkbcc.jp/>

1. 目的

「持続可能な社会」を目指す時代の要請に応えて、地域と環境に根ざしている優れた建築作品を表彰することにより、中部圏の建築文化の向上と地域の発展に寄与する。

2. 応募作品

次の条件に該当するものとする。

(1) 平成26年3月31日までに竣工した新築、改修、修復等がなされた建築物（一団の建築群を含む。）で、作品点数は制限しない。

「一般部門」 公共・文教・生産・商業・厚生・集合住宅・団地計画・都市開発・都市公園などを含む建築物等で規模の大小は問わない。

「住宅部門」 主要用途が住宅。

（集合住宅を除く。）

(2) 作品は、中部圏（愛知・三重・岐阜・静岡・福井・石川・富山・長野・滋賀の9県）内で実施されたものとする。

(3) 建築確認等が必要なものについては、その手続きが(1)の期日までに完了していること。

3. 受賞者 建築主・設計者・施工者の三者とする。

4. 応募要領

(1) 本会所定の申込書に記入し、下記の添付図書及び応募料を添えて、期日までに建物の所在する各県の加盟団体を經由して提出するか、または直接当協議会へ提出とする。

(2) 添付図書

下記①～③の内容をA3版用紙にまとめ、市販のクリアーファイルに納める。クリアーファイルの表紙には作品名称のみを記載する。

添付図書は20頁を上限とし建築主名・設計者名・施工者名は一切記載しない。A3版の縦使

い・横使いは自由とする。なお、すべての添付図書についてPDFファイルにし、1つのファイルに合成してCD-Rで提出する。(CD-Rには作品名称を記入すること。)

① 説明文

企画、設計、施工の各段階において、特に工夫あるいは配慮した内容を記述する。竣工年月日、総工事費も記載する。

一団の建築群を応募する場合は、各建築物の内訳も記載する。

② 図面

案内図、配置図、各階平面図、立面図、断面図、その他特に強調したい部分の詳細図等

③ 写真

大きさは自由とし、カラーかモノクロか問わない。(作品の外観4面及び遠景写真は必須とする。ただし、撮影不可能な場合はこの限りではない。)

5. 応募料

応募作品1点につき、一般部門は38,000円、住宅部門は15,000円とする。

* 応募料振込の場合は、下記あてとする。

三菱東京UFJ銀行 栄町支店

店番281 口座番号 0839946

中部建築賞協議会

6. 申込書提出（問合せ）先及び提出期間

提出（問合せ先）「中部建築賞協議会」

T 460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26

昭和ビル2F 東海建築文化センター内

TEL (052) 262-0838

FAX (052) 262-0839

提出期間 平成26年8月1日（金）

～8月31日（日）

* 郵送の場合は8月31日の消印まで有効とする。

7. 表彰及び発表

一般部門・住宅部門ごとに審査し、両部門を合わせたの通り表彰する。

入賞 10点内外

入選 10点内外

特別賞 若干（特別の評価等を得た場合）

建築主に表彰状及び記念銘板（住宅は記念楯）、設計者及び施工者には表彰状及び記念楯を授与する。表彰作品は12月上旬に一般紙及び業界紙等へ発表、12月中旬に表彰式を行う。

8. 審査員

新居 千秋

建築家

笠嶋 淑恵

建築家

川口亜希子

建築家

貴志 雅樹

富山大学芸術文化学部 教授

菅原 洋一

三重大学大学院工学研究科 教授

陶器 浩一

滋賀県立大学環境科学部 教授

増澤信一郎

建築家

柳澤 究

名城大学理工学部 准教授

9. その他

(1) 応募に当たっては、建築主、設計者、施工者ともに、必ず合意の上で申込んでください。

(2) 一次審査で選出の表彰候補作品は、現地審査を行うので予めご承知ください。

(3) 入賞・入選した作品については、新聞社等への発表用として写真の焼き増し並びに展示会用の引き伸ばし写真（カラー）の提供をお願いいたしますのでご承知ください。

(4) 応募図書は返却いたしません。但し、入賞・入選・特別賞以外の応募図書で返却ご希望の方にはお返しします。この場合、送料は申込者の負担とします。

(5) 中部建築賞協議会が、受賞作品を広く紹介するため関係資料を掲載・展示等の場合は、無償で使用できるものとします。

中部建築賞協議会 加盟団体名

(公社)愛知県建築士会 (公社)愛知県建設業協会 (一財)愛知県建築文化センター (一財)東海建築住宅センター (公財)中部圏社会経済研究所 (公社)岐阜県建築士会

(一社)三重県建築士会 (公社)静岡県建築士会 (一社)福井県建築士会 (一社)富山県建築士会 (公社)石川県建築士会 (公社)滋賀県建築士会 (一社)長野県建築士会 (一社)静岡県建築士事務所協会

(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター (一社)三重県建築士事務所協会 (公社)日本建築家協会北陸支部 (一社)日本建築学会北陸支部

第46回 中部建築賞応募申込書

中部建築賞協議会 会長 殿

平成 26 年 月 日

第46回中部建築賞の応募に、関係書類及び応募料を添えて下記のとおり申し込みます。

応募者	建築主	住所	〒		
		名称	(ふりがな)	TEL	
				FAX	
	氏名	(ふりがな)			
	設計者	住所	〒		
		名称	(ふりがな)	TEL	
				FAX	
	氏名	(ふりがな)			
	施工者	住所	〒		
名称		(ふりがな)	TEL		
			FAX		
氏名	(ふりがな)				
申込者 (担当者)		住所	〒		
		会社名		TEL	
		所属		FAX	
		氏名	(印)		

- 注 1 応募者名は、建築確認申請等に届出の正式名称を記載してください。(設計者は登録事務所名とする。)
 2 応募者印は省略、申込者印のみとします。但し応募者は、予め応募及び審査に同意があるものとします。
 3 設計、施工に関し他に共同者(JVなど)がある場合は、別紙で添付してください。
 4 担当者の連絡場所が応募者の住所と異なる(支店等)の場合は、必ず連絡先の住所を記載してください。

部 門	一 般 部 門	住 宅 部 門
作品名称	(ふりがな)	
所在地		
主な用途		工事種別
工事完了年月日	平成 年 月 日	
建築確認	平成 年 月 日 第 号	検査済証
	確認検査機関名	
主な構造		総工事費 千円
階 数	(地下) 階 (地上) 階 (塔屋) 階	敷地面積 m ²
建築面積	m ²	延床面積 m ²

加入団体名	応募料の納付確認欄 ※
	納付 平成 年 月 日
	受領者 氏名印 (印)

※ 事務局確認欄ですので、記入しないでください。

なごや歴まちサポーター養成講座受講生募集のご案内

景観整備機構（公財）名古屋まちづくり公社

～私たちの身近にある、歴史的建造物の保存・活用の活動にご協力いただける方を募集します～

景観整備機構（公財）名古屋まちづくり公社では、（公社）愛知建築士会はじめ関係団体の協力を得て、名古屋市が目指す身近な歴史的建造物の保存活用を推進しています。

今後、保存活用をさらに進めていくためには、市民の方の幅広いご協力が必要です。

この講座では、歴史的建造物に関する基礎的な知識を身に着ける講義や、まち歩きをして「いいところ探し」を行い、その活用方法を作成する演習などを行い、修了後には「名古屋歴史まちづくり市民推進員（なごや歴まちサポーター）」として活動していただきます。

- 1 期 間 平成26年9月14日～平成26年11月30日（原則隔週日曜日、計7日、20時間）
- 2 会 場 （公財）名古屋まちづくり公社名古屋都市センター 14階 会議室 ※現場見学の場合は現地
名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル（金山総合駅南口すぐ）
なるべく公共交通機関をご利用ください。
- 3 受講料 5,000円 ※他に、交通費や入場料等の実費が必要になる場合があります。
- 4 受講資格 歴史的建造物に関心があり、保存活用の活動を積極的に行っていただけの方
※原則として、裏面カリキュラムの全日程に出席可能な方



「なごや歴まちサポーター」には以下のような活動をしていただくことを期待しています！

- 歴史的建造物情報の提供：名古屋市への地域建造物資産情報の提供
- 保存活動への参加・応援：公社、名古屋市からの呼びかけに応じ、公社や他団体の活動への応援・支援を行う
- 自主活動・団体設立：関心を持つことに自主的に取り組み、継続して活動する

- 5 募集人員 20名
- 6 講座内容 裏面のとおり
- 7 申込期間 平成26年8月1日（金）8:45～平成26年8月15日（金）17:00まで
※ 申込者が定員を超えた場合は選考により決定し、その結果は8月下旬に申込者全員に通知します。
- 8 申込方法 次のいずれかの方法でお申込みください。
(1) 裏面の受講申込書に必要事項を記載し、景観整備機構（公財）名古屋まちづくり公社あて FAXで申し込む
(2) 葉書に、裏面の受講申込書の必要事項を記載し、景観整備機構（公財）名古屋まちづくり公社あて郵送で申し込む
(3) 景観整備機構（公財）名古屋まちづくり公社ホームページ「なごや歴まちネット」
<http://www.nagoya-rekimachinet.jp>から申込フォームに記入し申し込む
※ 受講決定者には受講料の振込用紙を送付し、振込確認をもって受講を確定させていただきます。
- 9 修 了 講座の全科目を履修した方に修了証書を発行します。
※ 演習その1、その2、発表会を欠席されると修了できません。
- 10 その他 講座開催風景などをホームページ等で公開することがありますのでご了承ください。

主催：名古屋市住宅都市局都市計画部歴史まちづくり推進室、景観整備機構公益財団法人名古屋まちづくり公社

協力：名古屋歴史的建造物保存活用推進会議

愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、
公益社団法人愛知建築士会、公益社団法人愛知県建築士事務所協会、
公益社団法人日本建築家協会東海支部愛知地域会、公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会、
一般社団法人中部不動産協会、一般社団法人日本建築学会東海支部、
一般社団法人日本建築構造技術者協会中部支部、職業訓練法人愛知県建設センター、なごや歴まちびとの会
名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター

《お問い合わせ》 景観整備機構 公益財団法人名古屋まちづくり公社 総務部経営企画室

TEL:(052)222-2314 E-mail:contact@nagoya-rekimachinet.jp HP:www.nagoya-rekimachinet.jp

なごや歴まちサポーター養成講座 カリキュラム

日程	時間	講座(講師)	概要	
1	9/14(日)	9:30～11:00	開講式 アイスブレイク・ガイダンス (名古屋まちづくり公社主幹)	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 講座の目的、サポーターとしての活動内容、今後のスケジュール、運営方法の説明
		11:00～12:30	歴史まちづくりの推進 (名古屋市歴史まちづくり推進室長)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市の行政、歴史まちづくりについての経緯と目標、制度の説明
2	9/28(日)	9:30～11:00	歴史的建造物の保存・再生の意義 (名古屋大学 西澤泰彦)	<ul style="list-style-type: none"> 保存・再生の考え方と事例、社会規範としての歴史的建造物
		11:00～12:30	建築の歴史 (名古屋工業大学 河田克博)	<ul style="list-style-type: none"> 建築全体の流れと住宅建築
3	10/5(日)	13:00～15:00	活用事例現場見学 (名古屋市歴史まちづくり推進室)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的界限(文化のみち)と活用事例(榎木館)の見学
		15:00～16:30	実践例その1(榎木館の保存活動) (自由空間 兼松春実)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な建物の保存に至るまでの活動を紹介
4	10/26(日)	9:30～10:30	実践例その2(ボランティア団体) (東区文化のみちガイドボランティアの会)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史を伝えるガイド活動の紹介 組織をまとめるための工夫
		10:30～11:30	実践例その3(活用と事業計画) (アートハウスあいち 志水久雄)	<ul style="list-style-type: none"> 小規模な建物の活用・運営の紹介(用途変更に伴う規制など)
		11:30～12:30	保存活用の担い手 (景観整備アドバイザー 野田展葛)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な団体の活動の紹介 組織のあり方について
5	11/9(日)	9:30～12:30	演習その1 (名古屋大学 西澤泰彦・堀田典裕)	<ul style="list-style-type: none"> 宿題について各自班内で発表、評価 魅力を活かした再生・活用方法の検討、各班1件選定 サポーターとしてできることを討議
6	11/16(日)	9:30～12:30	演習その2 (名古屋大学 西澤泰彦・堀田典裕)	<ul style="list-style-type: none"> 各班で選定した物件を改めて評価、アイデア検討 実現のためにできること、必要なことの検討
7	11/30(日)	9:30～12:30	発表会・修了式 (推進会議委員)	<ul style="list-style-type: none"> 再生・活用計画の発表

※講義は原則として都市センター14階会議室で行います。

なごや歴まちサポーター養成講座 受講申込書

フリガナ		生年 月日	(西暦)	年	月	日	性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	※受付番号
氏名									
自宅住所	〒			TEL					
				<input type="checkbox"/> FAX					
				<input type="checkbox"/> E-mail					
勤務先 又は学校名	名称			TEL					
				<input type="checkbox"/> FAX					
				<input type="checkbox"/> E-mail					
結果通知先	希望する通知先FAX又はE-mailに <input checked="" type="checkbox"/> 願います。(希望のない場合は自宅宛てに通知いたします)								
抱負・ 関心のある 活動など									

(公財)名古屋まちづくり公社 総務部経営企画室

郵送先 〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目1番36号 NUP・フジサワ丸の内ビル

FAX送信先 052-222-2339

いただいた情報は、講座の開催案内及び運営等以外の目的に利用しません。また第三者に提供することはありません。